



photo by haruka923

くまさん

日本医療機能評価機構の
認定を受けました

「自分で決める」ということ
訪問看護ステーション和み

作業療法日より

自分メシ

デイケア叶えです！

診療時間等ご案内



HP



Instagram

「くまさん」



僕は友和病院内にある訪問看護ステーション「ゆうわ」で働いている作業療法士だ。訪問看護ステーション「ゆうわ」は廿日市市の佐伯地域を中心に吉和地域、大野地域、大竹市や広島市の佐伯区で訪問看護サービスを提供している。

訪問している地域は山間部や内陸部が多いので、訪問先やその道中で野生動物に出会うことがよくある。僕はウサギを飼っている動物好きなので、アナグマやタヌキとかに出会うと可愛くて心が癒される。そんな動物好きな僕でも出会いたくない野生動物がいる。それはクマだ。

最近ではテレビでクマに関するニュースをよくやっている。撮影されたクマの映像やクマによる被害のニュースを見ると、プーさんのような黄色でおっとりした可愛いクマや、童謡「森のくまさん」に登場する紳士的で親切なクマは現実にはいないことがよく分かる。森どころか市街地の民家やスーパーでクマに出会える現代では、訪問先でクマにバッタリ出会うことがあるかもしれない。クマに出会わないためにはどうしたらいいのだろうか？

クマのニュースが多いので訪問先で利用者さんとクマの話をするのがよくある。クマに出会わないためにはどうしたらいいのか？という話で決まって出てくるのがクマ避けの鈴だ。クマは意外と臆病で人間が怖いので鈴を鳴らして「人間がいますよ。」とアピールすれば近寄ってこないという方法だ。訪問看護ステーション「ゆうわ」でもクマ避け

けの鈴を使っている。僕も訪問先によっては車から玄関まで鈴を鳴らしながら移動していた。鈴の音が大きすぎて「鈴の音であんたが来たことがわかる。」と利用者さんから言われたこともあった。だが、ある「く番組でクマ研究者が「現代のクマは人間を怖がらないので、鈴を鳴らすと逆に近寄ってくる可能性が高い。」と言っているのを見てから、僕はクマ避けの鈴を訪問バッグの奥にそっとしまっている。

利用者さんとはクマに出会ったらいらないのか？という話もする。「走って逃げる」「死んだふりをする」「目を合わせたまま後退する」など色々な意見が出るが最終的には「どうにもならない」という結論になる。走っても追いつかれるし、死んだふりとかをクマの前で落ち着いてできないからだ。少なくとも僕は無理だし、僕とクマについて話した利用者の皆様も無理だと言って笑っていた。どうやらクマに出会ったら「どうにもならない」と開き直るしかないようだ。

運がいいのか、鈴を鳴らしていないからなのか、この文章を書いている令和7年2月の時点では僕はクマに出会っていません。クマに出会ったら「どうにもならない」と開き直ると書きましたが、やっぱりクマには出会いたくないです。何が言いたいかというと、ここまで読んでいただいて「クマに出会わない方法を知っている。」という方がいたら是非教えてください。友和病院、または訪問看護ステーション「ゆうわ」へのご連絡をお待ちしております。

(作業療法士 牛尾真)



利用者さん宅にて。かつて使われていたクマの籠。



訪問リハビリ風景。利用者さんといろんな話をします。



▲認定シンボルマーク

日本医療機能評価機構の認定を受けました

このたび、医療法人社団友和会友和病院は「日本医療機能評価機構」という外部の専門機関による病院機能評価の審査を受け、認定をいただくことができました。この病院機能評価は、病院が安全で質の高い医療を提供できているかどうかを、第三者が客観的にチェックするもので、病院の信頼度に関する標準的な指標の一つとされています。

「病院機能評価受審を振り返って」

医療法人社団友和会 理事長 末田 格



友和病院が設立されて45年を過ぎましたが、保健所の監査などを除き、このような外部の機関のチェックを受けるのは初めての事です。私たちは、「自由、責任、活動、そして大切に思う心」という基本理念のもと、安心して過ごせる環境を提供し、患者のみなさんの人権を守り、その人らしい入院生活を送れるよう支援することを大切にして来ました。その活動に、私達は一定の自負を持ってきましたが、第三者の客観的なチェックを受けることでそれを見直し、友和病院が将来に向けて、患者さんからも地域からも信頼に足る病院として、在り続けるための体制を確立する機会にしたいと考えたのです。

今回の審査では、日本医療機能評価機構が定めた100項目近いチェック項目毎に、我々のこれまでのやり方が水準に達しているか自己点検し、足りない部分があれば改善して、全ての職員が水準以上の治療・看護の業務ができるよう、マニュアルを整えなければなりません。

チェック項目は、医療・看護・薬剤・栄養等直接患者さんに関わる部門は勿論、地域連携・医療事務・機器管理や病院の運営まで、多岐にわたります。「どんなところに課題があるのか?」「患者さんにとって、もっと良い支援は何か?」をそれぞれの部署で話し合い、全体で持ち寄って摺り合わせや協議をしました。それにより、これまで習慣的に行っていた業務が部署毎にばらつきがあったり、ミスにつながりかねない問題点も存在することが明らかになりました。問題点を整理し対応を見直して、個々の職員がばらつきのない業務を遂行できるよう、マニュアル作りを行ってきました。この準備は、2023（令和5）年2月から始まり、2024（令和6）年7月の審査まで、約1年半を要しました。全職員の努力により準備が整ったわけですが、とりわけ、各部門のリーダーの活躍がなければならなかったと思います。苦勞も多かった1年半ですが、この準備期間は病院全体にとって大きな学びの機会になりました。

機能評価の受審に向けての業務の見直しの過程で、職員の意識改革と業務の効率化が促進され、チーム医療の意識が高まった事も特筆すべ

き事と思います。

2024年7月5・6日の2日間サーベイヤーの点検や質疑があり、いくつかの指摘事項を改善して、2025年1月6日に認定が得られました。丸2年を要したことになります。

認定が得られた事は、友和病院の医療が標準化されたプロセスに則っており、医療の質と安全確保の体制が一定の水準に達していることが、客観的に認められたということです。また日本医療機能評価機構の認定は、行政から見ても適正な管理がなされていると認められる事につながり、将来に向けての病院の機構改革がやりやすくなる、という余録もあります。

私たちはこの事を、喜びを持って患者さん、ご家族の皆さん、全ての職員の皆さんにお伝えしたいと思っています。

今回の認定は、今後の友和病院の活動に様々な良い影響があると確信しています。とはいえ、これがゴールではありません。病院機能評価は5年毎に再受審しなければなりませんし、中間年の3年目には現状を自己点検し、その結果の報告義務があります。今回見つかった課題も含めて、これからも改善を重ね、職員を挙げて研鑽に努め、もっと信頼される病院を目指していきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「自分で決める」ということ

訪問看護ステーション なご 和み



利用者さんと魚釣りの休日。

これまで精神科スーパー救急、医療観察、精神科療養閉鎖、訪問看護など様々な環境で精神科医療に携わってきました。多くの患者さん・利用者さんと接する中で何らかの状況や環境によって、自分のことを周囲に決められてきた方、自分で決めることに不安がある方、過去の出来事を引きずっている方など様々な理由で生きづらい経験をされた方がおられ、そういった方の中には過去もしくは現在において自己決定（自分のことを自分で決めること）ができなかったために前に進めず、長年生きづらい日々を送っている方があまりにも多いことに気付きました。

以前、担当していたAさんの話です。Aさんは40歳代の男性でうつ病で入院となり、受持ち担当となりました。面談時に「自分は〇〇に行きたかったけど、親が〇〇に行った方がいいと言われたからその通りにした。」と言っていました。一見、何気なく聞くフレーズだと思えます。これがこのスーパーで買物するかという程度の話なら大きな問題にはならないでしょう。しかし、この方は「自分は美術大学へ行きたかったけど、親に難関大学へ行った方がいいと言われたからその通りにした。」と必死に勉強をして難関大学に合格したものの、人生において何をしたらいいかわからないまま日々追われ2年生となった頃、突然の不安から眠れなくなり将来に希望が持てなくなると話されていました。病院へ行くとうつ病と診断され、以後20年以上も過去のことを引きずっていたそうです。

面談してからというもの、しばらくAさんの言葉が頭から離れず、難関大学に入るだけの能力もあり、

両親のサポートもあり、何に苦しんでいるのだろうかと考えていました。Aさんは「今まででいいことを何もさせてもらえなかった。」とも言われていました。その言葉に、一つの想いが湧いてきました。それは、自分自身が心から喜び、納得し、幸せを感じるためには「自分の人生を自分で決めること」が重要な要因の一つであると思ったのです。

人生においてたくさんの選択肢がある中で自由に選択し、自分で決めて動いていくことは、大変なことです。時には周りの反対を押し切って選択しないといけないこともあるでしょう。そして、自分が責任をもって歩んでいくことは勇気がいることです。しかし、「やらされ感」は不自由なストレスを溜めるばかりです。すべてが思い通りにはいかなくても、できるだけ主体的に自己決定の割合を上げていくことが、人生の満足度や幸福度に直結するのではないかと感じます。

Aさんは救急病棟ということもあり、状態が落ちてすぐに退院となったため、《自分で決める》というテーマで話し合うことが叶いませんでした。今頃どのように過ごしているだろうか、と今でもふと思いつくことがあります。同時に、あの時に話し合うことができていれば、もっと自分らしく前に進むことができていたのではないかと考えることもあります。

Aさんのように生きづらさを感じている方がいれば自己決定をして、自分で選択したことに納得できる人生を歩んでほしいと思います。しかしながら、これまで状況や環境によって自己決定する経験が少

なかったことで、いきなり自分で判断していくことは簡単なことではないと思います。一人で決断することが不安な時、あるいは選択肢が分からずどうしたらよいか分からない時もあると思います。そのような時、訪問看護という、その方にとって身近な位置に居る当事業所の職員と一緒に考えて、一緒に悩みながら、寄り添い、そして自分で決めた道に納得して歩めたことを一緒に喜ぶことができる。そんな存在でありたいと考えています。

（訪問看護ステーション和み 向井 剛）



訪問ステーション和み

0829・30・8915

和みでは、身体的なケアだけでなく、『気持ち』が和み、気分が落ち着く、穏やかになる『精神的なケア』を、また在宅でのリハビリが必要な方には、精神科経験のある作業療法士が、ご本人のリハビリ意欲を高めることから関わっていきます。

■サービス内容

病状・障がいの状態観察／服薬に関する援助／食事・排泄・清潔の保持など日常生活の援助／床ずれの予防・処置／リハビリテーション／認知症の方のケアや精神障がいの方へのケア／ご家族の介護方法の支援・助言／社会資源の使い方などさまざまな相談／医師の指示による医療処置・検査の補助

■サービス提供営業時間

平日・土曜日 9時～16時45分

日曜日・祝日 電話対応可

■サービス対応地区 廿日市市 大竹市 広島市佐伯区

今年は、数年ぶりに病院の行事で『とんど焼き』をしました。折角の機会なので、作業療法プログラムではありませんが、皆様にご紹介出来たらと思います。



友和病院 作業療法だより ⑤

年始の風物詩感



年男の患者さん
による着火！

2

大きく組んであります。
(数日前に強風で倒れた
ため朝から組み直し：
営繕部のみなさんに感
謝です。)



1

とんどやりよるわ



暖かい室内からの
見学も盛況でした。

4

音がしよる／



空高く燃え上がりまし
た。患者さんの書き初め
も入ってます。

3

美味しいと好評でした。



火が落ち着いた後で、
ぜんざいとお汁粉を食
べていただきました。

6

上手に燃えとった



季節行事は普段と違う
空気が味わえ良いです
ね。皆さんの笑顔が印
象的でした。

5

たいぎい時も、自分に栄養

自分メン

ステップ3

いただきます



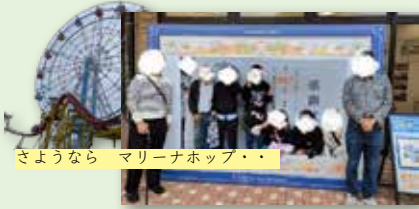
《材料》2人分

- ・豆腐 1/2 丁
- ・油揚げ 1/2 枚
- ・玉ねぎ 1/4 個
- ・人参 5cm分くらい
- ・しめじ 1/2 パック
- ・わかめ ふたつまみ
- ・味噌 大さじ2
- ・だしの素 小さじ1

《作り方》

- ①食べやすい大きさに切る（豆腐は1.5cm角、油揚げは短冊切り、玉ねぎは薄切り、人参はいちょう切り、しめじは石づきをとりほぐす）
- ②鍋に水、だしの素を入れて煮立たせ、油揚げ、玉ねぎ、人参、しめじを入れる
- ③野菜が柔らかくなったら豆腐、わかめを入れる
- ④ひと煮立ちしたら火を止め、味噌を溶かしたら完成！

油揚げや豆腐を入れて**タンパク質**を。きのこはうま味が出ます。ワカメで**食物繊維とミネラル**、人参などの緑黄色野菜で**ビタミンA**がとれ、玉ねぎで**血液サラサラ効果**が得られるなど、**ひと碗で栄養満点**ですよ。



さようなら マリーナホップ・・・



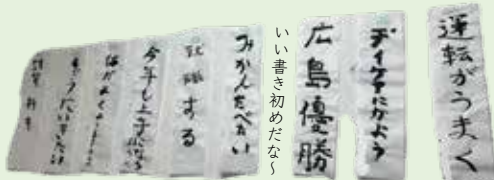
パークゴルフにも出かけました



初詣。
今年も安全に
充実した一年と
なりますように



クリエイティブな活動も充実しています



いい書き初めだな
今年もよい年になるように
運転がうまく
ダイキアがよう



友和病院管理栄養士さん手製
クリスマスランチ
事務長渾身の
唐揚げも！



出張お笑いライブで
ゲラゲラ笑いました！



晩さんのライブ♪演奏後は
茶話会にご参加いただきま
した。

廿日市エリアより

精神科デイケア
かな
叶えです！

ナイスショット！

昨秋の秋祭りでは友和病院の
患者さんもお招きして楽し
ました～！

秋まつり

1月往ぬる、2月逃げる、3月去るの如し、2025年も4分の1を過ぎようとしています。そんな中、巷ではインフルエンザやコロナ感染等、感染症も流行っていましたが、メンバーさんは皆さんお元気に通われており、この間も様々な活動を繰り広げてきました。体験利用の方や新規でご登録いただく方もおられ、新しいメンバーさんも増えつつあります。引き続き通われる皆さんにとって少しでもプラスになる場所、楽しいと思ってもらえるような場所になるよう頑張っていきたいと思います。それでは最近のデイケアの様子を写真でご紹介します！気になることがありましたらお気軽にお問合せください。

診察時間等ご案内

《旧佐伯町エリア》 〒738-0202 広島県廿日市市峠字下ヶ原500

・友和病院 ☎ 0829-74-0688
8:30~17:30（日祝休業）



・訪問看護ステーション
「ゆうわ」 ☎ 0829-40-0822
8:30~17:30（日祝休業）

・共同生活援助事業所エスペランサ ☎ 0829-74-1106
・短期入所事業所エスペランサ 8:30~17:30（日祝休業）
・相談支援事業所エスペランサ

《廿日市エリア》 〒738-0033 広島県廿日市市串戸4丁目2-16

・串戸心療
クリニック ☎ 0829-30-6014
受付：8:45~17:30

・デイケア叶え ☎ 0829-30-1900
9:00~15:00（木日祝休業）

・訪問看護ステーション
和み ☎ 0829-30-8915
8:30~17:30（日祝休業）

完全予約制 …		午前の部 9:00-12:00（受付 11:30 まで） ※水曜日 9:30-12:30（受付 12:00 まで） 午後の部 15:00-18:00（受付 17:30 まで） ※水曜日・木曜日 14:00-17:00（受付 16:30 まで） 祝祭日休診（日曜日が祝祭日の場合は診療、翌月曜日を休診とする）						
		月	火	水	木	金	土	日
精神科	午前	○	○	○	○	○	予約	—
	午後	予約	予約	予約	予約	予約	予約	—
内科	午前	○	—	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—
歯科	午前	—	○	—	○	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—
デイケア	午前	○	○	○	内科のみ	○	○	○
	午後	○	○	○	内科のみ	○	○	○
		月	火	水	木	金	土	日